

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アニコム ホールディングス株式会社（証券コード:8715）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

アニコム損害保険株式会社（証券コード:ー）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

■ 格付事由

- アニコムグループは、保険持株会社であるアニコム ホールディングスの傘下に中核のアニコム損害保険のほか、動物病院支援事業、動物医療の研究・臨床事業、ペット関連のネットサービス事業、ブリーディング事業などを担う複数の子会社を擁する。アニコム損保は国内初のペット保険専門の保険会社で、4割超のシェア（23年度の保険料ベースでの推計）を有する業界のリーディングカンパニーである。アニコムグループのグループ信用力は、差別化されたビジネスモデルや競争力のある商品性などを背景とした堅固な事業基盤、比較的高く安定した収益力、リスク対比でみた資本の充実度などを踏まえ「A」相当と評価している。保険事業における収益力の持続的な向上に加え、シナジー創出事業における利益の拡大などが、グループ信用力にプラスに寄与すると JCR は考える。
- 国内のペット保険市場は、ペット保険の認知度向上やペットに対する家族意識の高まりなどで高い成長性を維持している。大手企業による参入が相次いでいるが、アニコムグループは優れた商品性とサービス提供により、過度な価格競争をすることなく優位性を維持している。アニコム損保の最大の強みは人の健康保険制度と同様の仕組みを採用した「窓口精算システム」というビジネスモデルにある。この利便性の高い仕組みを全国の動物病院と構築できたことが、事業基盤の強さにつながっている。また、グループは創業当時から「予防型保険会社グループ」の実現を志向している。遺伝子検査による遺伝病の撲滅、腸内フローラ測定などによる健康サポート、口腔・腸内ケアを意識した商品の提供などを推進し、ペット保険を入口に、病気の予防と早期発見につなげる取り組みに注力してきた。このほかブリーディングサポート事業も手掛けており「保険事業」と「保険事業以外の事業」とのシナジーの追求によって、グループ全体の企業価値を向上させていく方針である。
- アニコムグループの収益力は比較的高い。保有契約件数は順調に拡大しており、契約継続率は約9割と高い水準で安定している。グループ連結の24/3期決算は、経常収益、経常利益ともに前期を上回り、堅調に推移している。もっとも、アニコム損保単体でみた E/I 損害率はインフレに伴う診療費単価の上昇などにより、この数年は若干の上昇傾向が続いている。代理店手数料の削減などが寄与し、一定の収益性が維持されているものの、ペットの健康支援施策や、販売チャネルの多様化による保険事業の収益規模の拡大といった取り組みによる損害率の改善効果に注目していく。
- グループ全体のリスク対比でみた資本充実度は A レンジ相応の水準にある。現行規制のソルベンシー・マージン比率は業界平均との比較で低い水準にあるが、ペット保険は規制上、保険種類の単独区分がなく比較的高いリスク係数が適用されていることから、一般保険リスクが実態よりも大きく算出されている側面がある。25年度から導入される経済価値ベースのソルベンシー規制においてはペット保険に関するリスク係数

が新設されるが、実質的なリスク量に変化はなく、グループ信用力への直接的な影響はないと JCR は考える。資産運用面では安全性と流動性の確保を優先するスタンスであり、リスクは限定的である。

- (5) グループの事業はペット保険関連に集中しており、リスクプロファイルは一般的な損保会社とは大きく異なる。ペット保険は小口契約の集積で基本的にリスクは分散されており、大数の法則がはたらくので損益のボラティリティは抑制されている。もっとも、支払事由の発生頻度の高まりや価格競争、動物愛護管理法の改正などが利益の圧迫要因となる可能性がある。リスク・リターンのバランスの確保が重要であり、支払実績のモニタリング、予定支払率とのかい離などへの適切な対応が求められよう。

発行体：アニコム ホールディングス株式会社

アニコムグループの保険持株会社。発行体格付はグループ信用力と同等としている。ダブルレバレッジ比率が一定水準を下回って推移しているうえ、グループの財務運営方針を踏まえると、今後も大幅に上昇する蓋然性は低いとみており、持株会社の構造劣後性を格付に反映していない。ただ、アニコムグループのペット関連事業に対する戦略的投資のアペタイトは比較的強いと JCR はみており、事業投資に対するスタンス、グループの資本政策、持株会社単体の負債と資本の調達のバランスなどに注目していく。

発行体：アニコム損害保険株式会社

アニコムグループの中核会社。アニコム ホールディングスが議決権の 100%を有する。日本初のペット保険専門の損保会社で、業界のトップシェアを有するリーディングカンパニーである。堅固な事業基盤を背景に安定的な収益力を有し、財務の健全性は比較的高い。発行体格付は、アニコムグループの中核会社であることなどを踏まえ、グループ信用力と同等としている。

(担当) 阿知波 聖人・松澤 弘太

■ 格付対象

発行体：アニコム ホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2020 年 9 月 11 日	2025 年 9 月 11 日	0.300%	A

発行体：アニコム損害保険株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年8月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：阿知波 聖人
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「損害保険」(2024年2月8日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) アニコム ホールディングス株式会社
アニコム損害保険株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル